

沿岸域の総合的管理に向けた 海域環境対策の俯瞰

～水産・環境・港湾の取り組みを例にして～



日時

平成23年
2月25日(金)
開場12:30 開演13:00

募集人員 ※先着順

230名

参加
無料

場所

芝浦港南区民センター 1F 区民ホール

東京都港区芝浦4丁目13番1号

JR山手線・京浜東北線 田町駅 東口 徒歩10分

地下鉄 浅草線・三田線 三田駅 A4出口 徒歩12分

都営バス(浜95系統) 八千代橋下車 徒歩1分

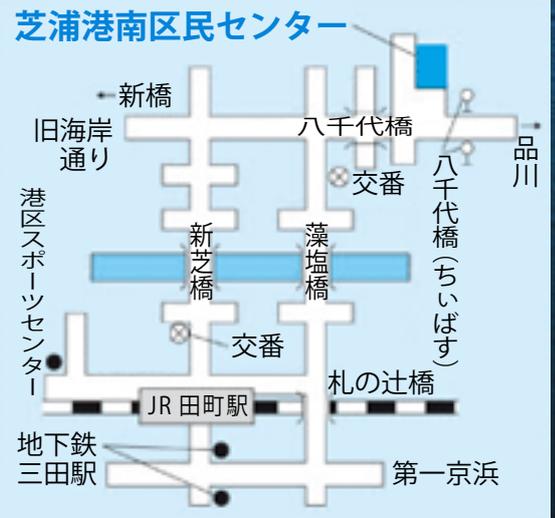
港区コミュニティバス(ちいばす)

車庫発着便 八千代橋下車 徒歩1分

これまで「海の再生プロジェクト」は、目標や施策を関係者で共有するという「協調政策」的な位置づけとして取り組んできました。今回の「海の再生全国会議」では、今後の「海の再生プロジェクト」において「共通政策」としての「沿岸域の総合的管理」を目指していくにあたって、海域環境対策に関するこれまでの取り組みのレビューや将来展開に向けた課題等について議論します。

※現在、東京湾、大阪湾、伊勢湾、広島湾において、関係省庁や関係自治体等の連携のもと、陸域からの汚濁負荷の削減、海域における環境改善、環境モニタリング等の湾再生のための各種施策を「海の再生プロジェクト」として実施しています。

「海の再生全国会議」は、各湾における施策の情報共有・発信、市民等との連携・協働の推進等を目的として開催しています。



お申し込み方法

※定員になり次第締め切らせて頂きます。

■ 参加をご希望の方は、下記ホームページから事前にお申し込みください(先着順・定員230名)

<https://www.umisaisei.com/form.html>

■ 問い合わせ先 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-3 ケイアイ四谷ビル5F 株式会社オーエムシー内
『海の再生全国会議』事務局 (担当: 佐々木) TEL 03-5362-0120

主催



後援

東京湾再生推進会議、伊勢湾再生推進会議、大阪湾再生推進会議、
広島湾再生推進会議、財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団

基調講演 13:05～13:25

海洋基本法に基づく沿岸域の総合的管理の取組

内閣官房総合海洋政策本部事務局内閣参事官 金澤裕勝氏

沿岸域は、多様な生物が生息・生育し、様々な利用が輻輳している区域である。平成19年に施行された海洋基本法は、「自然的社会的条件からみて一体的に施策が講ぜられることが相当と認められる沿岸の海域及び陸域について、その諸活動に対する規制その他の措置が総合的に講ぜられることにより適切に管理されるよう措置を講ずる」としている。海洋に関する基本的施策である「沿岸域の総合的管理」の取組の状況等について概説する。

話題提供 13:30～16:10

【第1部】内湾環境の現状 13:30～14:45

内湾・閉鎖性海域は、地形改変や負荷流入といった人々の活動による影響を受けながらも、漁業生産や気候緩和、炭素固定など様々な形の生態系サービスを人々に供給している。こうした内湾環境の現状を概観するとともに、具体のサービスやその利用・管理についても多様な視点から解説する。

閉鎖性海域環境の現状と課題

独立行政法人国立環境研究所水圏環境研究領域長 木幡邦男氏

沿岸域における漁業生産と資源管理

独立行政法人中央水産研究所浅海増殖部資源増殖研究室長 片山知史氏

沿岸生態系における炭素固定

独立行政法人港湾空港技術研究所沿岸環境研究チームリーダー 桑江朝比呂氏

【第2部】環境再生に向けた試み 15:00～16:10

沿岸域の環境再生を推進するためには、総合的な取り組みが不可欠である。そうした事例として、国産アサリの復活に向けた全国協議会での検討、生物共生型構造物を利用した都市臨海部における自然再生の取り組みとともに、こうした取り組みの基盤となる環境情報の収集と活用の先進事例を紹介する。

国産アサリの復活に向けてーアサリ資源全国協議会の活動

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所長 鳥羽光晴氏

都市臨海部における自然再生・生物共生型構造物

国土技術政策総合研究所海洋環境研究室長 古川恵太氏

環境情報の収集と活用

関東地方整備局港湾空港部沿岸域管理官付課長補佐 遠藤秀則氏

総括質疑 16:10～16:40